

平成19年度

「生徒による授業評価」

結果報告

県立横浜旭陵高等学校

「生徒による授業評価」研究グループ

<はじめに>

県立学校一斉の取り組みとして行っている「生徒による授業評価」ですが、本校も昨年度に引き続き実施いたしました。今年度の開講109講座についての集計がまとまりましたので、ご報告いたします。(資料1・2)

この授業評価は、生徒の視点に立った授業改善を進めるとともに、生徒が主体的に授業に取り組もうとする姿勢を育み、生徒と教員との信頼関係をより一層深め、校内研修等とおして、教員の指導力の向上を図り、生徒の学習意欲がさらに増すことを目的として行っており、今年度も昨年と同様に7月と12月に実施しました。

<今年度の取り組み>

昨年度からの変更点は、調査方法です。昨年は、各授業において、教科担任が実施しておりました。しかし県より指定された7月と12月に授業が無く実施できない教科が出ることや、体育など実習主体の授業では、調査を紙に書かせる機会がとりにくく、調査がやりにくいなどの弊害が指摘されていました。このため、今年度はLHR時による一括記入方式を採用しました。これは自分の履修しているすべての科目の評価を1枚のシートにすべて書き込んでいくもので、一斉の評価が可能になり、提出実数も確保することができました。また、講座ごとに必要だった調査用紙も、在校生の人数分で足りることになり、省資源の面からも改善されました。

しかし、授業ごとではないので、その授業の評価が正しく反映されているのかと言う声も聞かれました。

今回の調査は記名方式をとりました。記名することで調査に責任を持ち、正確に調査してもらうためです。また一斉調査時に欠席した場合でも、その生徒を特定し調査することが可能と考えました。しかし一部の生徒からは「記名では本心がかけない」との声も聞かれました。

本校では県で指定された8項目に加え、観点別評価本格実施に伴い「評価の付け方と周知の方法」についての調査項目を増やし、合計9項目について教科科目別に4段階で評価しました。(資料3)(資料4)

また、授業について4段階評価だけではなく、コメントとして記入してもらう取り組みは、今年度は一斉調査時ではなく7月から9月にかけて各授業ごとに実施しました。これについての記名・無記名は各担当者判断とし、コメント内容を授業改善に生かすこととしました。(資料5)

7月の結果をふまえ、今年度に置きましては「生徒に充実感を与える授業展開の工夫」をテーマとして10月からの授業改善に臨みました。

改善方法としては、すべての教員が比較的評価の高い教科・科目の授業を、各自が選んで見学する事(資料6)と、このテーマに沿った内容をふまえた授業展開ができるよう教科別の話し合いを行い、それを検証するため研究授業を行う事としました。この研究授業においては、その到達状況を把握するため生徒に対する事前・事後のアンケート調査や、教科での検証を行い報告書を提出しています。(資料7)

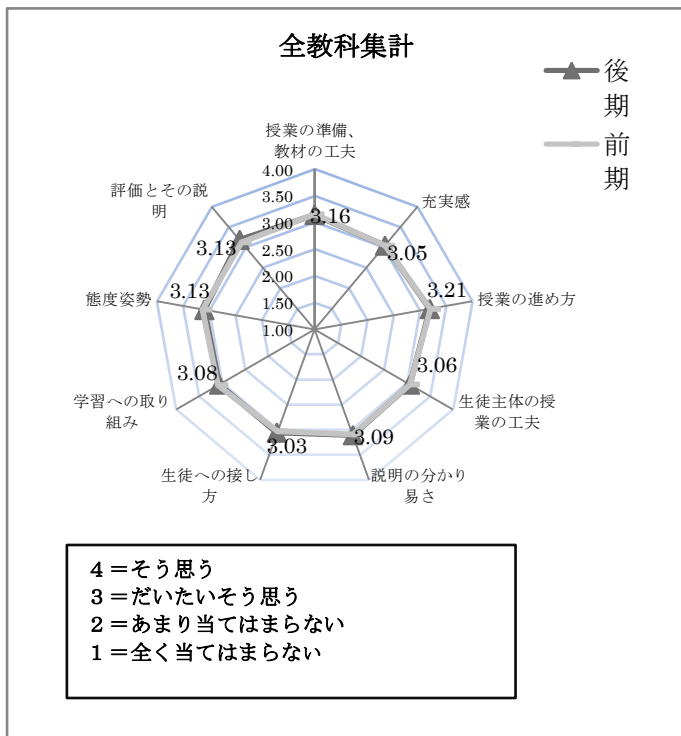
<調査結果>

多種多様な生徒たち全員に充実感を与えるのはなかなか難しいことです。今回の調査では「とても当てはまる」と回答した生徒の数は減少していますが、不満を持っていると考えられる「当てはまらない」「とても当てはまらない」と回答した生徒の数も減少し、8割に近い生徒が「当てはまる」と回答していることで、一定の評価を得られたと分析しています。(資料2)

<まとめ>

来年度も授業改善の一環として「生徒による授業評価」を継続したいと思います。その際、県で指定されている項目だけでは、自分の教科の授業改善のために直接反映することが難しい教科もあります。そのために教科・科目ごとの独自の項目を設定し調査することも検討中です。一斉記入による調査方法や、記名方式についても利点は多くありましたが、マイナス点を検討しさらなる改善に努めたいと思います。これらの調査結果については、広報誌やインターネット等を通して広く一般の方々にも伝えたいと思います。

(資料1) 全体の集計



(資料2) 前後期の評価割合

調査項目		後期	前期
授業の準備、教材の工夫	4	35.0%	38.8%
	3	48.4%	43.3%
	2	12.8%	13.0%
	1	3.9%	4.9%
充実感	4	31.3%	34.1%
	3	47.2%	41.6%
	2	16.5%	16.9%
	1	5.0%	6.3%
授業の進め方	4	36.4%	38.5%
	3	49.3%	45.0%
	2	10.9%	10.7%
	1	3.4%	3.7%
生徒主体の授業の工夫	4	33.3%	35.4%
	3	44.8%	38.1%
	2	16.1%	17.1%
	1	5.8%	6.3%
説明の分かり易さ	4	33.9%	34.2%
	3	47.7%	41.9%
	2	13.8%	14.4%
	1	4.5%	5.6%
生徒への接し方	4	32.1%	33.4%
	3	46.7%	38.4%
	2	16.0%	17.2%
	1	5.2%	6.4%
学習への取り組み (自己評価)	4	33.3%	35.6%
	3	45.0%	38.4%
	2	16.2%	14.9%
	1	5.5%	6.4%
授業に臨む態度姿勢 (自己評価)	4	36.9%	38.5%
	3	41.5%	35.5%
	2	16.0%	14.3%
	1	5.5%	6.1%
成績の付け方とその説明	4	37.4%	33.5%
	3	47.8%	43.2%
	2	11.0%	12.4%
	1	3.8%	4.6%

※数値はそれぞれの項目を加重平均し数値化したもの

(資料3) 教科別集計

	準備工夫	充実感	進め方	生徒主体	明快さ	接し方	取り組み	態度姿勢	評価方法
国語	3.11	2.84	3.11	2.79	2.96	2.86	2.86	2.89	3.10
地歴	3.24	3.16	3.32	2.93	3.26	2.98	3.16	3.20	3.37
公民	3.00	2.88	3.19	2.98	3.08	3.04	2.87	3.13	3.16
数学	2.84	2.80	3.02	2.92	2.82	2.86	2.74	2.99	2.99
理科	3.20	3.04	3.22	2.94	3.11	2.95	3.03	3.00	3.19
体育	3.09	3.16	3.20	3.25	3.18	3.16	3.19	3.22	3.16
芸術	3.29	3.34	3.26	3.30	3.30	3.31	3.33	3.23	3.29
外国語	3.16	3.04	3.16	3.15	3.04	3.14	3.10	3.12	3.22
家庭	3.07	2.85	3.05	2.95	2.94	2.94	2.90	2.97	3.06
情報	3.31	3.24	3.25	3.12	3.26	3.14	3.18	3.19	3.24
キャリア	3.08	2.89	3.13	3.06	3.09	3.07	2.95	3.02	3.14
家庭専門	3.50	3.49	3.35	3.26	3.18	3.28	3.51	3.36	3.38
情報専門	3.33	3.27	3.40	3.67	2.80	3.33	3.27	3.53	3.33
簿記	3.17	2.96	3.09	3.09	2.96	3.17	3.04	3.00	3.26
福祉	3.41	3.05	3.18	2.95	3.14	3.18	3.23	3.09	3.09
全体平均	3.16	3.05	3.21	3.06	3.09	3.03	3.08	3.13	3.13

(資料4) 科目別集計(上位の10科目を抜粋)

科目名	準備工夫	充実感	進め方	生徒主体	明快さ	接し方	取り組み	態度姿勢	評価方法
演奏を楽しむ	3.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
マスメディアで知る	3.88	3.75	3.88	3.88	3.88	3.63	3.75	3.75	3.88
ハングルⅡ	3.71	3.86	3.57	3.71	3.86	4.00	3.57	3.14	3.86
音楽Ⅲ	3.71	3.65	3.65	3.88	3.47	3.59	3.76	3.47	3.71
生活と環境	3.75	3.50	3.75	3.50	3.75	3.50	3.50	3.50	3.75
手作り講座	3.46	3.58	3.54	3.50	3.54	3.54	3.67	3.58	3.54
ハングルⅠ	3.67	3.58	3.33	3.67	3.50	3.58	3.75	3.67	3.33
書道Ⅲ	3.78	3.56	3.44	3.33	3.56	3.56	3.67	3.56	3.67
数学Ⅰ 演習	3.60	3.60	3.50	3.40	3.50	3.60	3.70	3.50	3.50
レクスポⅡ	3.50	3.63	3.56	3.56	3.50	3.38	3.69	3.50	3.25

(資料5)科目名 生徒の授業に対するコメント(抜粋)

国語表現 I	もっと作文を書きたい
国語総合	中学の時は寝てばかりだったが今は静かに勉強できるしわかりやすい。
古典	勉強しないとテストの点が取れないと思い、家で勉強するようにした。
漢字を学ぼう	「2級合格」を目指すだけあって、漢字の意味なども丁寧に教えてくれたりして、結構「漢字って奥深いんだなあ」と思うようになりました。これからはがんばって「2級」合格できるようにしっかりとやっていきたいと思います。
世界史 A	基本的に話している内容はよく分かる。けど、一方的にしゃべっているから90分は集中力が持たない。会話したりしながら楽しくやった方がみんなのやる気も起きると思う。
政治・経済	この授業は授業と関係のないことをやっていたら厳しくしかったり、寝ている人がいたら注意したりして、こっちが緊張感を持って授業ができるので眠くもならないし、内容がちゃんと頭に入っていきます。
人権を学ぶ	授業を受けて、自分の今までの歩みについてすごく反省した。それですごくためになる授業だった。私は2年の授業でこの授業が一番スキです。
マスメディアで知る	授業を受けるようになってから、メディアに対しての見方が変わり、メディアリテラシーや歴史など様々なことを学べるいい機会になりました。
数学 I 標準	先生の授業を受けて「勉強は公式を覚えるだけでなくとにかく問題を解くことが大切だ」と思いました。問題をたくさん解くと「わかる」「わからない」がよく解ります。
数学 A	私は小・中と数学が苦手で全然できなかったのですが、数Aの授業を高校で初めて受けて、少し数学が好きになりました。こんな簡単なやり方があったんだと驚くことがたくさんあって、授業を受けていて少し得をした気分になります。
Z o o l o g y	初めは動物にあまり興味なかったが観察が楽しくなった。
生物 I 演習	最初はこの授業をとって失敗したなと思って休みがちになってしまったけど、少し出席してみたらとても細かなところまで勉強できてちょっと難しいけどすごく自分のためになることばかりで休んでいたのがすごくもったいないなと思いました。
1年生向け体育	先生、優しすぎかな？中学はとても厳しかったので、楽しくなったが今は楽しくてとても良いですが、ならば時などもっと厳しくしてもいいと思います。
造形表現 I	先生に質問をするとき、他の人の手伝いなどをしていると聞くまでに時間がかかるので、先生をもう一人増やして欲しい
スクリーンングリッシュ	教科書を見ながら単語を覚えるより、映画を見ながら楽しく英語を覚えたほうが頭に入った気がする。映画は全部楽しかった。
発展英語	自分でやったら嫌になってしまうだろうが、授業でやるからやる気になり、進め方はとても楽しい。
家庭基礎	プリントでも充分ためになるが、もっと教科書を取り入れたもう少しだけ濃い内容にして欲しい。
発達と保育	保育実習やカレンダー作りの実習など楽しかったし勉強になった
情報 A	パソコンを使っただけの授業だったのですごく楽しみながらできたと思う。メールでの毎回の授業の感想も授業内容を思い出す機会になっていたのが良かった。毎回の授業でほぼ必ずパソコンを使っていたので退屈することもなかったし、説明にもパソコンを使っていることなど良く工夫されていたと思う。
パソコン活用講座	お互いの作品鑑賞・評価はとても有意義で、しかも匿名なので変な先入観無く鑑賞できるのでとても良いと思う。
6期キャリア	入学当時は「動物関係の仕事でいいや」なんてアバウトなことを考えていたけど、キャリアの時間を通し、進路のことを改めて考え直した。“自分は何をしたいのか”それがすごく大事で決して絶対という文字はついてこないけど、見直す、考え直すきっかけになった。キャリアの時間は大学の進路ルートまでわかりやすく教えてもらったので、すごく良かったです。

(資料6) 授業見学の報告 (抜粋)

見学者	見学講座名	参考になった事柄
外国語科教諭	国語総合	漢文の返り点や書き下し文を短い時間でスピード感を持って生徒に取り組みさせていた。とかく難しい内容だと長々と説明したりしがちだがたくさん量を生徒に取り組みさせることも大切であると感じた。頑張っている生徒が多かったのに驚きました。
数学科教諭	世界史A	授業にメリハリがあり、指示が簡潔なため生徒にわかりやすいと思った。また、随所に「メモタイム」を設けることで生徒の意識を集中させ、授業に取り組みやすい工夫がされていた。内容自体も生徒にわかりやすい具体例を用いながら説明がされていたし、聞いていて興味もてた。
家庭科教諭	現代社会	生徒にじっくり時間をかけて考えさせているという点がとても印象に残り参考になりました。授業後にお話を聞いたところ、普段は書かせている間に意見が飛び交うこともあるとのことなので、活発に行われているのだと感じました。板書の仕方ではプリント内容のみを記入し、そのプリントが終わると全部消して、次のテーマに向かう点などでは気持ちの切り替えがしやすいなと思ひ、大きなテーマが終わった時などでは参考にしてみたいなと思いました。
社会科教諭	郷土を学ぶ	休業中の校外授業だったが出席率が高く、熱心に見学しており事前授業の充実ぶりが伺えた。幕末遺跡の発掘調査の現場を見ることができ、興味のある生徒の目は輝いていた。校外授業の有効性を実感させられた。
数学科教諭	数学Ⅱ	サインカーブを印刷し、切り抜き・円筒の切断面であることを実演した。被服とのつながりを見せた。
理科教諭	物理Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な器具の説明・配線上の注意点など、的確でわかりやすかった。 ・生徒が実験操作をしているときは、机間巡視を行い、操作に間違いがないかを点検していた。 ・予定の時間が早めに終了したので、発展的な内容の操作を生徒に指示し、時間を有効に活用していた。
家庭科教諭	Zoology I	移動時間等も含めて、普段一般の人が入れない、繁殖センターへの見学の機会は、90分ならでの授業展開だと思い参考になりました。事前指導もしっかりなされていて、職員の方の説明に対する理解力や興味関心の持たせ方なども生徒に行き届いていて勉強になりました。またプリントレポートを書かせるにあたって、教員側がバインダーを用意して対応していることも、とても参考になりました。私自身あんなに近くで獲や貴重な動物たちを見られると思っていなかったので大変感動したのですが、周りの生徒たちも本当に食い入るように見入っていたので実際に実物・本物を見せること、体験することによって得られるものの大切さを改めて実感しました。
保体科教諭	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・実技と説明の時間配分の工夫度。 ・生徒全員をしっかりと授業に参加させ、興味を持たせ取り組み課題を工夫しているところ。
芸術科教諭	実用書	生徒がいかに集中して作品の制作に取り組めるか、よく工夫されており参考になった
外国語科教諭	英語Ⅱ標準	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が英語を頻繁に使うことで英語らしい授業と感じた。 ・新しいレッスンへの導入は、それまで学習した情報をうまく活用して行われていた。 ・英語だけでなく、環境問題への意識を高める内容だった。
国語科教諭	ハングルⅠ	当日の出席生徒数14名という少人数を生かした授業展開の仕方や質問等、発音とスペルが同時に体得できるフラッシュカードの類を活用していたこと、あるいは返答に窮している生徒をさりげなくフォローしている言葉やネイティブ・ティーチャーとの連携など、参考になること大であった。
理科教諭	家庭総合	<p>食物に含まれる炭水化物の導入として、世界のパンの絵を生徒に確認させながらの授業展開は、生徒の興味を惹きつける良いアイデアだと思いました。</p> <p>数種の実物のパンを生徒に見せることで、でんぶんの種類と性質についての違いを考えさせる流れも良かったと思います。</p>
数学科教諭	情報A	かなり具体的かつ実践的な内容でこれなら生徒がイメージしやすく興味を引き付けることができると感じた。数学でも役に立つ実践的な教材を研究しなければと思った。

(資料7) 研究授業について (抜粋)

教科名	実施月日	科目名	内容	担当者名	教科外見学者人数	教科としてのまとめ
国語	11月14日	国語総合	漢文入門	川村	5	1年間全体の中で「生徒主体の授業の工夫」と「授業の充実感・達成感の向上」をめざす内容を常に考えていくことは当然とは思いう。しかし、多くの授業以外の繁忙な仕事や生徒に対する諦めの中で埋没していることもあるので前向きに取り組んでいくことが必要だろう。
外国語	11月7日	ハングルⅠ	「～してください」の学習	今田	2	小テストなどを重ねることで学習内容の定着は、はかれるが、それだけに頼ることなく如何に学習へのモチベーションを高めるかが課題である。授業内容及び方法をさらに改善したい。
芸術	11月9日	造形表現Ⅱ	より深い表現力の育成	小池	1	各自の積極的な取り組みを促すことによって、充実感や達成感を得られるよう工夫した。
情報	10月29日	情報A	様々なメディアとインターネット検索	海部	2	解説部分では多面的な伝達手段を用いて、興味関心を引き出すようにし、実習部分では、充実感や達成感が得られるよう教材を工夫した。
社会	11月16日	現代社会	主権者としての国民	三石	7	今回の研究授業は、『一方的な講義にならない』ということを目指にしました。生徒の感想は「普段より発言する場面が多かった。」ということで目標は達成できたと思います。 しかし、予定していた授業内容をこなすことができなかつたので年間通して、この方法で授業するのは難しいと思いました。
数学	11月14日	数学Ⅱ	三角関数の弧度法とグラフ	工藤	5	コンピュータ室を利用しての関数を実感させる授業であった。操作性を理解させるのに時間がかかり事前の準備のための授業が必要に感じた。生徒の感想は概ね好評であった。
理科	11月8日	物理	オームの法則	田中・本間	2	理科の授業の特徴である実験を取り入れた授業を企画した。授業展開の中での実験の位置づけや実験方法の工夫、実験における指導の留意事項、実習助手との役割分担や連携を研究した授業である。これからも、理科の授業における実験の重要性を鑑み、実験を積極的に取り入れた授業展開を考えていきたい。
体育	11月24日	体育	柔道の投げ技と受け身	相原・服部	3	全体を通して成果があった。この成果をふまえてさらに発展させていきたい。
家庭	11月9日	家庭総合	炭水化物の働き	中田	6	今回の研究授業は、「生徒が主体となった授業展開」ができるよう、授業のプリントを工夫し、生徒の作業も計画的に設定するなど、教科で事前に研究した内容であった。実際に授業してみでの生徒アンケートで、今日の研究項目は授業後で改善した結果が出ており、今回の研究は成果があったと考えられる。